

名称等	第45回沼津市芸術祭「美術展」の開催 及び審査結果のお知らせ
場所	プラサヴェルデ2F 市民ギャラリー 住所:沼津市大手町1-1-4
担当	文化振興課 直通 055-934-4812 内線 2792

1 芸術祭「美術展」受賞者発表

第45回沼津市芸術祭「美術展」部門において、10月18日(木)に審査を行った結果、別紙のとおり各賞が決定しましたので、審査結果をお知らせします。

また、受賞作品を含む展示を下記のとおり行います。

開催期間 : 平成30年10月19日(金)～10月24日(水)

(22日は休館日)

10:00～18:00(最終日は16:00まで) ※入場無料

場所 : プラサヴェルデ 2F 市民ギャラリー

出品作品数: 131点(招待作品も含む)

2 その他

第45回沼津市芸術祭の「美術展」を含む展示部門及び文芸部門の受賞者には、下記のとおり表彰式を行います。

表彰式 : 平成30年11月11日(日) 14:00(13:00受付開始)

会場 : プラサヴェルデ コンベンションホールB

3 今週末の芸術祭予定

沼津市芸術祭「演劇祭」

日時:平成30年10月20日(土)

1回目13:30～ 2回目18:00～

場所:沼津市民文化センター 大会議室

入場無料

沼津市芸術祭「バレエパフォーマンス」

日時:平成30年10月21日(日) 13:00開演

場所:沼津市民文化センター 大ホール

入場料:1,500円

沼津市芸術祭「沼津寄席」

日時:平成30年10月21日(日) 13:00開演

場所:沼津市立図書館 視聴覚ホール

入場無料

平成30年度第45回沼津市芸術祭 美術展審査結果報告

◇ 作品点数

	洋画	日本画	水彩・版画	合計
一般公募作品	47	22	29	98
無鑑査作品	11	5	7	23
招待作品	6	2	2	10
合計	64	29	38	131

◇ 審査日 平成30年10月18日(木)

◇ 審査員

- 洋画 川合 朋郎(東京芸大卒業)
- 日本画 大場 茂之(日本画家)
- 水彩・版画 見目 陽一(一社 日本版画院 前理事長)

受賞点数

「芸術祭賞」、洋画部門、水彩・版画部門 各1点、日本画部門は該当者なし
 「市長賞」、「市議会議長賞」、「教育長賞」、「文化協会賞」、「静岡新聞社・静岡放送賞」 各部門1点ずつ
 水彩・版画部門のみ「山口源の会賞」1点(版画)

「奨励賞」点数

各部門5点ずつ

◇ 受賞作品・作者名

● 洋画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	陸に上がった老船	植松 徹	沼津市西添町
市長賞	春近し	鈴木 道夫	沼津市東椎路
市議会議長賞	清流岩をぬけて	栗田 米子	沼津市西添町
教育長賞	森の物語	寺田 恵子	沼津市大岡
文化協会賞	静と動	高橋 六郎	御殿場市神山
静岡新聞社・静岡放送賞	街の風景	秋山 輝雄	裾野市深良
奨励賞	港発、鮮魚を搬送	長田 清志	沼津市豊町
奨励賞	白州の郷	小林 春	伊豆の国市奈古谷
奨励賞	新緑の風薫る。	外川 雄章	駿東郡長泉町下土狩
奨励賞	秋の陽ざし	西川 宏海	沼津市大平
奨励賞	極楽鳥花(ストレリチア)	望月 すみ子	熱海市水口町

● 日本画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	該当なし		
市長賞	思いを込めて	勝又 まゆみ	駿東郡長泉町下長窪
市議会議長賞	畑の春	大村 泰子	沼津市大手町
教育長賞	初夏の彩り	杉山 清弘	三島市大場
文化協会賞	青鬼娘	由 三蔵	三島市壺町田
静岡新聞社・静岡放送賞	風にふかれて	山田 多美子	駿東郡清水町長沢
奨励賞	冬の訪れ	片岡 喜志子	沼津市東椎路
奨励賞	椿とおじそうさん	小林 みさ子	沼津市日の出町
奨励賞	休日	市東 朋美	沼津市根古屋
奨励賞	陽春	菅 孝美	熱海市紅葉ヶ丘
奨励賞	静寂	丹澤 幸枝	沼津市吉田町

● 水彩・版画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	疾駆	杉山 雅彦	三島市芙蓉台
市長賞	あの夏の思い出	高島 邦明	沼津市大諏訪
市議会議長賞	生命の物語り	伊東 好子	沼津市平沼
教育長賞	旅路の果て	新谷 敏文	沼津市双葉町
文化協会賞	晩照	諸星 要子	沼津市本字千本
静岡新聞社・静岡放送賞	夕映え 棚田	渡邊 利彦	沼津市平町
山口源の会賞	レンガとひまわり	古地 宰治	沼津市東沢田
奨励賞	紅萌ゆる庭	増永 弘	沼津市本田町
奨励賞	地球温暖化	杉山 清治	沼津市我入道江川
奨励賞	沼津駅の朝	落合 清太郎	駿東郡清水町徳倉
奨励賞	薔薇のように	小原 榮	沼津市原町中
奨励賞	仏像三体	佐藤 和弘	沼津市原

◇審査短評

●洋画部門

審査総評	描けるかもしれないという閃きといざ描き始めてみると遠のいていく理想のイメージ。今回受賞された作品は画力でその乖離を最小限に留めたまま終えることができたものです。
------	--

●日本画部門

審査総評	前回より丁寧さが欠けた作品が見られた。何を表現し描きたいのか？素直な形で自身を探して見ることが肝要と思われる。情趣溢れる染み入る画を求めたいものです。
------	---

●水彩・版画部門

芸術祭賞 「疾駆」	大画面に動きがあって目を楽しませてくれる。
審査総評	今回の作品は全般的に画面構成が納得できた。